

令和2年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	令和2年9月30日（水）広島合同庁舎4号館5階第22号共用会議室
委員	伊藤 博文（委員長／税理士） 谷村 吉弘（委員長代理／公正取引協会客員研究員） 田邊 尚（弁護士） 川西 澄（大学院准教授） 上河内 正和（不動産鑑定士）

II 契約実施機関が締結する契約（建設工事等を除く。）に関する審議

契約実施機関：中国四国防衛局

審議対象期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日	
審議対象件数	280件	
1. 入札状況について（入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について）		
抽出件数	7件	（審議概要） 「抽出案件」 ・一般競争入札
一般競争	7件	
指名競争	0件	
随意契約	0件	
	意見・質問	回答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	<p>【一般競争入札】（1者応札） 《平成31年度航空機騒音自動測定装置購入設置等業務》 企画部防音対策課 落札率95.07%</p> <p>・1者応札で、落札率が高い（95.07%）</p> <p>・他の業者は応札できないのか</p> <p>・なぜ、他の業者は応札しないのか。</p>	<p>・常時測定用の騒音測定器は特殊な機材で、市場への流通が限定的であり、扱っている企業が少なくなることが1者応札及び高落札率の要因と考える。また、予定価格の積算は、労務単価、旅費等については、積算資料や物価資料等を用い精査しているが、見積を基に行っていることが、高落札率の要因になっていると考えられる。</p> <p>・積算の際に見積を徴収した業者は応札可能と考える。</p> <p>・応札しない理由については承知していないが、A社はメーカーであり、他の業者はA社の代理店であることも要因の一つかと考える。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・ A社以外のメーカーはいないのか。いるならなぜ応札しないのか</p> <p>・ A社以外に応札者がいないのであれば1者応札の解消は無理であり、入札する意味がないのではないか。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《平成31年度航空機騒音自動測定装置等保守点検委託業務》 企画部防音対策課 落札率96.79%</p> <p>・ 1者応札で、落札率が高い（96.79%）他の航空機騒音自動測定装置についても1者応札、高落札率で、会社名が類似しているが何か関係があるのか。</p> <p>・ 1者応札と落札率が高い理由は航空機騒音自動測定装置購入設置等業務と同じということか。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《令和元年度航空機騒音自動測定装置設置等業務》 企画部防音対策課 落札率97.56%</p> <p>・ 1者応札で、落札率が高い（97.56%）</p> <p>・ 本件は、騒音測定器の購入ではないのか。</p>	<p>・ B社というメーカーがあるが、主に国土交通省と取引を行っていることと承知している。</p> <p>・ メーカー、代理店を含め、A社以外の業者が応札する可能性が全くないと言い切れないことから、競争入札の実施は必要と考える。</p> <p>・ C社は、A社の計測機器の修理、メンテナンスに関わる部門が独立したA社の子会社であると承知している。</p> <p>・ そのように考える。</p> <p>・ 騒音測定器は10年で更新しているが、撤去した機器はすぐに廃棄せず、本庁舎内で何台かは保管している。運用している騒音測定器は、適切に保守を実施しているが、機器に不具合が生じ、交換が必要となった</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>・ 1 者応札と落札率が高い理由は航空機騒音自動測定装置購入設置等業務と同じなのか。</p> <p>【一般競争入札】（1 者応札） 《中国四国地区(1)労務費調査業務》 調達部調達計画課 落札率 97.74%</p> <p>・ 1 者応札で、落札率が高い（97.73%）</p> <p>【一般競争入札】（1 者応札） 《令和元年度航空機騒音自動測定装置移設業務》 企画部防音対策課 落札率 97.07%</p> <p>1 者応札で、落札率が高い（97.07%）</p>	<p>場合、購入の手續に時間を要し、騒音測定に長期間の欠測が生じることから、これを避けるため、予備の機器として保管しているものである。本件は、この保管していた機器を設置したものである。</p> <p>・ そのように考える。</p> <p>・ 予定価格の積算にあたっては、複数社より見積を徴収し、市場価格と比較を行い、安価であった見積を基に予定価格を作成したため高落札率となったものと考え。1 者応札になった理由については、国土交通省の地方整備局等の他省庁及び中国四国地方の各県なども、同様の調査業務を発注しており、他の省庁等から受注したため、人員の確保が出来なかったため、入札に参加しなかったものと推察する。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>・騒音測定器の移設とは、どのようなことを行うのか。</p> <p>・これも1者応札と落札率が高い理由は航空機騒音自動測定装置購入設置等業務と同じなのか。</p> <p>【一般競争入札】（1者応札） 《駐留軍等労働者に対する健康管理等に係る業務委託（広島地区）》 岩国防衛事務所 落札率91.48%</p> <p>・1者応札で、落札率が高い（91.54%）</p>	<p>・騒音測定器を設置していた防災無線のポールが移設されることになり、新たに専用のポールを設置し、そこに騒音測定器を移設したものである。</p> <p>・そのように考える。</p> <p>・1者応札になった理由は、広く入札の周知を行った（中国四国防衛局ホームページ、岩国防衛事務所、（独）駐留軍等労働者労務管理機構岩国支部及び呉市医師会の掲示板）ものの、結果1者のみの応札となった。入札への参加は業者の判断によるものであるため、参加しなかった理由については承知していない。落札率は、予定価格の積算にあたり、インターネットで公表されている派遣業者の価格とD社から徴収した参考見積を比較した結果、D社が安価だったため予定価格として採用した。そのため、予定価格と応札額が近く、落札率が高くなったものと考ええる。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>【一般競争入札】（1者応札） 《令和元年度自衛隊施設の隣接地調査に係る補助業務》 企画部施設管理課 落札率93.75%</p> <p>・1者応札で、落札率が高い（93.75%）</p> <p>・積算で積上げられないのか。</p>	<p>・見積を3者から徴収し、積算資料に掲載されている人材派遣料金と比較を行い、安価な方の見積を採用し予定価格としたため高落札率となったと考える。なお、積算資料には広島の人材派遣料金が掲載されていないため、東京・名古屋・大阪を参考にした。入札には2社が参加予定であったが、1社が人員の確保が出来なくなったことにより辞退したとのことであった。</p> <p>・人材派遣のため積算では出来ない。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について		
談合疑義件数	0 件	(審議概要) なし。
談合情報	0 件	
点検結果疑義	0 件	
○委員からの 意見・質問	意見・質問 ・なし。	回 答 なし。
○それに対する 回答等		
○委員会による 意見の具申 又は勧告の内容	・なし。	

3. 再苦情処理（再説明請求回数）				
再苦情申立件数 （再説明請求件数）	総件数	0 件	(備考)	
一般競争		0 件	なし。	
指名競争		0 件		
随意契約		0 件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）	申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問	意見・質問		回 答	
	なし。		なし。	
○それに対する 回答等				
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容	なし。			